

じんのすけだに

# 甚之助谷地すべり対策事業の整備促進

てどり うしくび

手取川水系牛首川（石川県白山市白峰）

しらみね

## 安全な地域づくり

・近年大きな災害を受けた地域における治水事業の重点実施

## 事業の概要

甚之助谷地すべりは一級河川手取川水系牛首川の最上流、標高 1,600～2,400mの高標高に位置する、全国でも希な高山地域の地すべりで現在も年間 10～15cm 程度の移動が観測されています。

この誘因の一つとして雪解けに伴う多量の地下水供給が考えられることから、主に地すべりブロック内の地下水を排除する工法により安定化を図ります。

## 整備効果

地すべりブロック内の地下水位を低下させることで、地すべりが安定化し、日本最大級の地すべり滑動に起因する大量の土砂流出による手取川ダム治水・利水（石川県民約 8 割の水瓶）機能の低下防止、沿川集落や観光資源である白山へのアクセス道を保全し、土砂災害から沿川住民と登山者等を守ります。

## 事業着手

昭和 56 年（昭和 37 年の事業着手後、昭和 47 年に事業を概成。その後、昭和 50 年頃より再滑動がみられたため、昭和 56 年より事業再開）

## 平成 20 年度の事業内容

平成 20 年度は、甚之助谷左岸側への地下水浸透を抑制する排水トンネルに着手、併せて地すべりブロック内での集水ボーリングと既存施設の機能維持のため集水ボーリング孔洗浄を継続実施。

